

広島空港特定運営事業等 2022年度 事業計画



広島国際空港株式会社

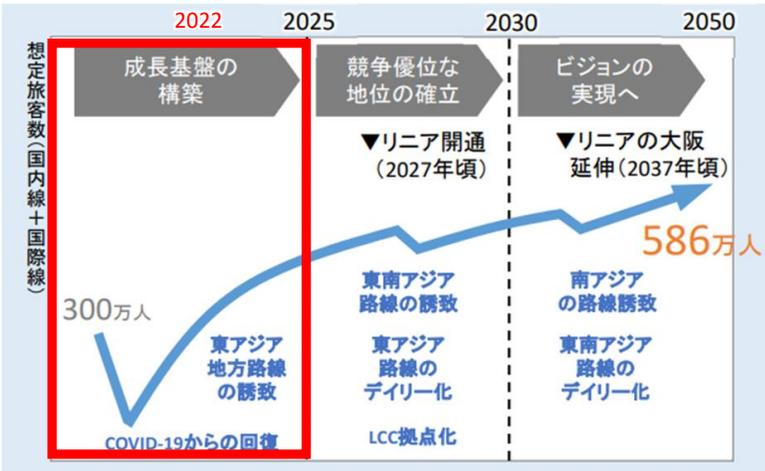
2022年度方針

事業期間終了時
(2050年度)
におけるビジョン

中四国の持続的成長を牽引し続ける圧倒的No.1ゲートウェイ
 広島空港を「あらゆる旅行者に最も選ばれる玄関口」へ、
 中四国を「世界に選ばれる目的地」へ

中期計画
(-2025年度)

- ✓ 30年間の将来成長を確かなものとするために、COVID-19による航空需要の一時的蒸発から速やかに立て直し
- ✓ 2030年頃に見込まれる関空・福岡の容量拡大、リニア開業等の外部環境の変化を勘案し、当初5年間を最重要期間として注力



2022年度方針

- 外部環境の変化に対応し、国内線を中心とした航空需要の獲得を図るとともに、国際線の翌年度以降の本格的な回復に備えセールス活動と需要の掘り起こしを行う。
- 商業エリアの賑わい作り等で収益力を強化するとともに、今後の成長に向けてターミナルビル拡張を中心とした計画を推進する。
- 地元自治体や地域経済界をはじめとする各種団体との連携・繋がりをより深めて利用促進を加速させる。
- 安全、安心を守る体制を継続、強化する。

■ 旅客数・貨物量目標

		2022年度
旅客数 (万人)	国内線	213
	国際線	6
貨物量(千t)		9

■ 投資計画

	2022年度	投資内容
運営権設定施設	1.2	航空灯火LED化
非運営権設定施設	30.4	特定天井改修、立駐建設、ハレーションセンター整備
投資合計	31.6	

(億円)

具体的施策

航空 ネットワーク

- 国内線を中心とした運休路線の早期復便、需要回復に向けたマーケティングを進めるとともに、長期的な路線拡充を促す新たな料金制度を導入する。
- 本格的な需要回復に向け、FSC/LCC双方での新規路線の誘致活動を実施する。
- 空港経由輸送ルート拡充等、将来的な航空貨物事業についてのマーケティング戦略を立案する。

交通 アクセス

- 新規直行バスや既存路線の広島空港経由化、新交通モード導入等により交通アクセスを拡充する。
- 立体駐車場建設等により駐車場容量を拡大し、利便性を向上する。
- レンタカーステーションについて、来年度以降の整備に向けた実施計画を策定する。
- エアライン、各アクセス事業者と各種データの連携ができるシステム整備に向けた検討を進める。

空港施設等の 運用

- 瀬戸内・山陰の魅力を発信する商業エリアの実現やイベント等の開催により賑わいを創出し、収益向上を押し進める。
- 今後の需要拡大に向け、旅客ターミナルビル拡張・改修計画を取りまとめ、来年度以降の整備に繋げる。
- 空港経営の高度化を目指した広島空港DX（デジタルトランスフォーメーション）計画を策定する。
- 空港のGX（グリーントランスフォーメーション）実現に向け、太陽光パネルの設置等脱炭素化施策を具体化する。

地域連携 ・地域共生

- 広島空港振興協議会及び地元自治体・DMO等と連携してイン・アウト双方の需要獲得を進めるとともに、地元企業を会員とする「広島空港サポーターズクラブ」を活用した法人向けの利用促進活動を実施する。
- 国際線の需要獲得に向け、海外市場のマーケット調査とリアル・デジタルでのプロモーションを実施する。
- 締結済パートナーシップ協定の具現化に取り組む等で地域の力を集め、繋ぎ、地域の活性化を押し進める。

安全・安心

- ターミナルビル特定天井改修工事等を実施し、自然災害への耐性強化を行うとともに、新たな空間演出を実施する。
- オペレーションセンターの新設とともに、大規模自然災害や航空機事故対応の訓練の精度を上げ、有事対応能力を強化する。
- 空港内事業者の雇用支援のための「空港採用センター」をスタートさせる。

< 特定天井改修工事 >



< 立体駐車場建設 >



* 完成イメージ図